



産業を育成するまち

施策

活力と魅力あふれる産業をつくる

現状・課題

繊維産業は本市の基幹産業として、一時は製造品出荷額^{*1}の37%を占め、地域産業の中核を担ってきましたが、今日では27%に落ち込み、また全製造品出荷額も減少傾向にあります。

しかし、市内には繊維産業などを基盤とした高度で多様な技術力、開発力を持つモノづくりの企業が多く存在しており、これらの技術力を活かした新商品づくりや新分野への進出も見られ、近年の景気回復に伴い、新たな企業の立地、工場の増設も増えてきています。

活力のあるまちを築くため、今後も起業家への支援や地場産業などの新たな展開への支援を総合的・積極的に行いながら、企業誘致による産業の活性化や雇用の増加を目指します。

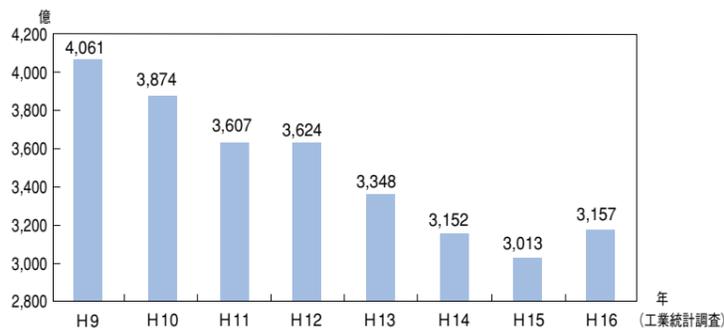
また、これからは、新たな交流を促進するため、福井の魅力の発信や、交流客が楽しめるまちづくりに取り組みます。

さらに、本市の自然環境、歴史的背景、風土条件を活かしながら、多様な観光ニーズに応じた魅力ある観光地づくりに取り組みます。

施策の方向性

- ・ 多様な交流の拡大による産業の活性化
- ・ 地域資源を活かした新たな価値の創造
- ・ 企業誘致と起業家の育成による雇用の確保
- ・ 産業構造の変化に対応する職業能力の開発

● 製造品出荷額等（4人以上の事業所）



用語説明

- *1 製造品出荷額：その事業所の所有する原材料によって製造されたものを当該事業所から出荷した工場出荷価額。
- *2 交流人口：居住者に加えて、通勤・通学者、観光やレジャー、買物などで訪れる人なども合わせた人口。
- *3 コンベンション：博覧会や見本市などの大規模な催しのこと。
- *4 創業ベンチャー：新技術や高度な知識を軸に大企業では実施しにくい創造的・革新的な経営を展開する個人や団体。
- *5 租付加価値額：生産活動によって新たに生み出された価値の総額。製造品出荷額等・原材料使用額等・一内国消費税で算出。
- *6 実用新案：物品の形状・構造または組み合わせについて、産業上利用できる新規の考案をすること。
- *7 ビジネスキャリア制度：ホワイトカラー層を中心に技能や職務能力等を高めるため、様々な専門的な知識や能力を習得することを支援する国の学習システム。



課題を解決するために

基本柱1 交流人口^{*2}を増加させる

外に向かって福井の魅力情報を発信し、本市のイメージアップを図る。多様な交流の促進に向け、観光客の誘致・コンベンション^{*3}の開催を図る。円滑な人的交流を活性化させるため、高速広域交通体系の整備を促進する。

中 柱	内 容
福井のイメージづくり	◎ 地域固有の観光資源の再評価による新たな魅力づくり ◎ 福井の魅力の情報発信
交流客をもてなすまちづくり	◎ 観光地・宿泊施設等の環境の整備 ◎ 市民のもてなしの心の醸成
高速広域交通体系の整備促進	◎ 新幹線、高速自動車道の整備促進 ◎ 福井港利用推進支援
農山漁村と都市のふれあい交流及び二地域居住等の推進（再掲）	◎ 農林漁業体験機会の提供 ◎ 農産物や水産加工品の販売機会の確保 ◎ グリーンツーリズムの普及 ◎ 二地域居住や週末帰農に関する研究

指標 58	就業・就学流入人口	基準値（H12）	51,906人	目標水準（H23）	59,200人
指標 59	宿泊者数	基準値（H17）	454,900人	目標水準（H23）	500,000人

基本柱2 地域産業の競争力を向上させる

地域産業発展のため、新たな企業の創出、新商品・新サービス、新分野への進出、新たな販路開拓など企業の意欲ある取り組みの促進を図る。

中 柱	内 容
地域資源を活かした新たな価値の創出	◎ 既存産業の高度化や新分野への事業展開を図るため、新商品・新技術開発や人材育成などへの支援
業種を越えた連携	◎ 多様な産業展開を図るため、産学官、企業間、地域間、異業種・異分野間の交流・連携の支援
産業情報の発信	◎ 福井の産業の認知度を高めるため、福井ブランドの商品等の販路開拓の支援
起業家の育成	◎ 創業ベンチャー ^{*4} の活発な展開を促進するための支援体制づくり

指標 60	租付加価値額 ^{*5}	基準値（H16）	163,320百万円	目標水準（H23）	180,000百万円
指標 61	特許・実用新案 ^{*6} 出願数（県）	基準値（H12～16）	4,811件	目標水準（H18～22）	5,300件

基本柱3 安心して働ける雇用の場を創出する

市民の安定した雇用の場を確保するため、既存企業の事業活動環境を支援するとともに、市外からの新規企業立地の促進と市外への企業流出を防止する。また産業構造の変化に対応する産業の担い手を育成する。

中 柱	内 容
企業誘致・企業流出の防止	◎ 市内への企業の新規立地を促進 ◎ 産業立地関連情報の発信・整備 ◎ 企業転出防止のための関係機関の連携
福井の産業を担う人づくり	◎ 雇用情報の提供 ◎ 職業能力の向上・開発の支援 ◎ 若年者雇用の促進 ◎ ITを活用できる人材の育成
生涯を通して働ける環境づくり	◎ 中高年齢者や障害者の雇用促進 ◎ パートタイム労働、派遣労働、在宅勤務等の多様な働き方への支援

指標 62	新設事業所数	基準値（H13～16）	1,641事業所	目標水準（H18～21）	1,800事業所
指標 63	ビジネスキャリア制度 ^{*7} 修了認定試験合格者数（県）	基準値（H15～17）	204人	目標水準（H19～23）	500人

◎補完指標

- ・ 観光客入込数
- ・ 製造品出荷額等
- ・ 有効求人倍率、学卒者の就職率、市内事業所数の推移、市内従業者数の推移、就業構造の推移（事業所数・従業者数）、新規雇用者数